

ともに前へ。

80th Anniversary

1946 ⁀ 2026

Move & Challenge
KATSUYAMA KIKAI

FORWARD,
TOGETHER.

創立から80年。カツヤマグループは時代の変化に挑戦しながら、
「運ぶ・動かす」を支える技術とともに歩みを重ねてきました。
創業者や先人たちが築き上げた志は、世代を超えて受け継がれています。
私たちは、その歩みの上に立ち、受け継いだ想いを未来へつなぎながら、
新たな価値の創造に挑戦し続けてまいります。
80年の歩みの中で築いてきた、お客様・協力会社・社員とのつながり。
その一つひとつへの感謝を、未来への挑戦を支える力へ。
エンジニアリングで社会を動かし、ともに未来へ歩み続けます。

すべての感謝を、次なる推進力へ。

ともに前へ。



MESSAGE
ごあいさつ

1946年の創立以来、機械工具の卸売から製造、そして「製販一体」のエンジニアリング商社へと歩みを重ねてまいりました。

80周年を迎えられましたのは、お客様、仕入れメーカー様をはじめ、これまで支えてくださった皆様のご支援の賜物です。

社員一同、心より感謝申し上げます。

これからも「運ぶ。動かす。0を1にする知恵で現場を笑顔に。」を胸に、技術と創造力で安全・安心な現場を支え、未来のものづくりに貢献してまいります。

カツヤマキカイ株式会社
代表取締役会長 木村 吾郎

INTERVIEW

新たな経営体制で、未来へ。

創立80周年を迎え、
カツヤマキカイは新たな経営体制で
次の一歩を踏み出します。
80年の歴史のなかで築いてきた
信頼と技術を受け継ぎながら、
次の100年に向けて、
さらなる挑戦を続けていきます。
新たな体制で目指す未来とは。

これまでの歩み、
そしてこれからのカツヤマキカイについて、
木村会長にお話を伺いました。

80周年を迎えて

80周年を迎えたことにあたりましては、創業者をはじめ創業期を支えてくださった関係者の皆様、共に歩んでこられた諸先輩方、社員の皆様、そして、仕入れ先・得意先の皆様、ご信頼いただいている株主の皆様に心より感謝申し上げます。
また、創業者が単独で会社を築いたわけではなく、その当時の同志の方々が集まり、日本の産業復興を目指そうという志でこの会社の基礎を築き上げたと聞いております。特に戦後からカツヤマキカイは発展し続けてきました。その戦後間もない頃に物もお金もない環境で相当な苦労があったことと思います。それでも負けずに常に前進しようという思いで、時代を切り開いていった。そうした基盤がなかったら、私どもの現在は当然ありません。基盤を作っていただいたということをまず第一に感謝すべきことと感じています。

受け継がれる挑戦の精神

当社は日本はもとより、シンガポールをはじめ、アジア・ヨーロッパ各国において、超高層ビルや高層エレベーター、化学プラント、インフラ施設、宇宙・防衛関連設備などで、独自のマテリアルハンドリング技術をもって合理的に安全に現場を支えてきました。
現在では、様々な現場で得た多くの経験をもとに製品納入にとどまらず、工法提案もさせていただいており、多くの産業現場で高い信頼を集めています。
当社が目指す「製販一体」とは、80年にわたり専門商社として培ってきた経験と実績に、自社製品の開発・設計・製造を単に加えることではありません。自社で仕入れ可能なモノは迅速確実に揃えてお届けし、現場に最適なモノが無ければ、可能な限り自社で開発・設計・製造する。長年にわたり当社を支えてくださった仕入メーカー様の優れた技術や製品と、当社がさまざまな現場で積み重ねてきた独自のマテリアルハンドリング技術を融合させることで、既存工法の改善にとどまらず、新たな工法の創出を可能にします。さらに、製品の納入後も自社で保守・点検を行い、導入から運用まで一貫して現場を支えます。これこそが、当社の考える真の「製販一体」であり、「エンジニアリング商社」であると考えています。
新たな技術・新たな工法に向けた挑戦に限りはありません。生々流転に受け継いだ事業経験を糧に、知恵を絞り、創造力豊かに社員一同、一貫した理念体系下で「運ぶ。動かす。0を1にする知恵で現場を笑顔に。」を事業目標として、独自の技術の刃を研ぎ、日本のものづくりとして世界に誇れる企業を未来に繋いでいきたいと考えています。

これからのカツヤマキカイ

我々がこれから新たな挑戦をする中で、時代の背景や習慣、慣習の移り変わりなど様々なことがあるかもしれません。しかし、このカツヤマキカイが存在している以上、創業精神である「真実一路、確実なる前進。」というコアだけはぶれることなく大切にしていきたいと思います。それを軸に我々ができることを一生懸命やっていく。やはり、常に前進あるのみなんだと。
そして、世の中にないものを作り上げていく。今までになかった感動や現場におけるソリューションがユーザーの皆さんや、現場の方々の驚きになれば、これほど我々にとっては嬉しいことはありません。それをつくりあげていくということが、自分たちの自信にもつながっていくと思うので、私はエンジニアリング商社としての事業機能をこれからさらに加速させ、育んでいきたいと考えています。
次の経営者、責任者、社員が同じ志を持ち、これからも世の中にないものを追い求め、果敢な挑戦を続けていく。そうした会社であり続けたいと思います。

LOOKING AHEAD



専務取締役
塚本 智紀
TOMONORI TSUKAMOTO

代表取締役会長
最高経営責任者
木村 吾郎
GORO KIMURA

取締役社長
木村 公治
KOJI KIMURA





1923（大正12年）
創業者の木村辰雄が、
東京都京橋区銀座に
合名会社勝山商会創業

1937
（昭和12年）
大阪市西区薩摩堀に
大阪出張所開設

1946（昭和21年）
12月29日（株式組織）大阪出張所を
合名会社勝山商会より分離、株式会社勝山商会を創立









1961（昭和36年）
株式会社勝山商会を
カツヤマキカイ株式会社に
社名変更



1965（昭和40年）
カツヤマキカイとフランストラクテル社に
より合弁会社「日本トラクテル株式会社」
設立
滋賀県守山市に工場を建設
「株式会社チルコーポレーション」として
独立

1976（昭和51年）
本社を大阪市北区
大阪駅前第二ビルに移転

1980（昭和55年）
TK GONDOLA（S）PTE,LTD.
（シンガポール）設立

1987（昭和62年）
社長 木村辰雄が会長に就任
副社長 木村雄一が社長に就任

1988（昭和63年）
TKT GONDOLA CORPORATION
（台湾）合弁会社設立（現TKT
CORP.）

1997（平成9年）
群馬県大泉町に
東部流通センター（TRC）建設

2001（平成13年）
TK KOREA Co.,Ltd.（韓国）設立

2002（平成14年）
株式会社末廣車輌製作所が
カツヤマグループに参入



2004（平成16年）
株式会社藤通商が
カツヤマグループに参入

2005（平成17年）
TKGS（シンガポール）を、
Katsuyama Group（S）
Pte.Ltd. に社名変更

2006（平成18年）
社長 木村雄一が会長に就任
副社長 木村吾郎が社長に就任

2011（平成23年）
東京事業本部を品川区西五反田
に新設



2012（平成24年）
チルコーポレーションを
カツヤマキカイに経営統合

2013（平成25年）
神戸に本社を移転
製造・エンジニアリング機能を神戸空港島に集約

2021（令和3年）
神戸に研究開発棟新設

2026（令和8年）
社長 木村吾郎が会長に就任
副社長 木村公治が社長に就任
東京事業本部を新宿区西新宿
に移転
立川市高松町に東京工場を
オープン

OUR 80-YEAR HISTORY

80年の歩み

1946年の創立以来、カツヤマキカイは
時代の変化とともに歩みを重ね、
「運ぶ・動かす」を支える技術とともに成長してまいりました。
80年にわたる歩みの中で迎えた節目や出来事を、
年表とともにご紹介します。



カツヤマキカイ株式会社
〒650-0048 兵庫県神戸市中央区神戸空港3-12
TEL：078-306-3610　FAX：078-306-3641
www.katsuyama.co.jp